

# 特別展 あだち物流のひみつ —モノを運ぶ歴史と文化—

会期 平成26年10月21日(火)～平成27年1月12日(月・祝)



▲「いすゞ自動車 トラックパンフレット」昭和29(1954年)  
いすゞ自動車株式会社 所蔵

足立は江戸時代の昔から、物流の拠点として栄えてきました。関東一円に、奥羽からの物資が舟運と陸運によって運ばれ、千住宿は江戸四宿で最大の「流通都市」となりました。明治時代に鉄道が開通し、東京が拡大するにつれ、足立の物流はさらなる発展をみました。

そして今日では、足立の運輸業の事業所

## 足立区立郷土博物館だより 67

平成26(2014)年10月  
ADACHI MUSEUM  
足立区立郷土博物館

数は東京23区で一番となり、足立は「陸運王国」とも呼ばれるようになりました。このような足立の物流の歴史や文化はどうやって築かれたのでしょうか。そこには「ひみつ」がありました。今回の特別展では、「トラックがはこぶ」、「人と馬がはこぶ」、「船ではこぶ」という三つのテーマから、足立の物流の秘密を探っていきます。



▲オート三輪「くろがねKGL3型」  
昭和32(1957)年製造 株式会社三共モータース 所蔵

特別展関連事業  
「ギャラリートーク」  
物流の文化遺産

日時 11月15日(土)午後2時より  
会場 郷土博物館  
申込 当日直接会場へお越しください。  
参加費は無料です。

当館学芸員による特別展の展示解説を行います。ぜひご参加ください。

今回の浮世絵展では、当館収蔵の浮世絵の中から、歌川派絵師と役者絵をテーマに、新公開となる浮世絵を多数交えて展示します。江戸時代の人々が熱狂した歌舞伎の文化を描いた役者絵は、浮世絵の主要なジャンルの一つであり、その中で様々な表現が生まれました。歌川派一門は、その役者絵で長きに渡って人気を保ち、江戸時代後期には画壇で最大の勢力を誇ったのです。



▲三代歌川豊国 団扇繪「早野勘平、こし元おかる(仮名手本忠臣蔵)」  
万延元(1860)年 当館蔵

本展覧会では、歌川派一門における役者絵の継承と多様な展開を追います。歌川派全盛の基礎を築き、「似顔絵師」を名乗るほど役者似顔絵を描いた国芳という、歌川派一門の中核を担った三人を軸に、歌川派絵師それぞれの個性豊かな役者絵の描き方をご紹介します。

※3月30日(月)と4月6日(月)は、桜まつり期間のため、臨時開館いたします。



▲フェイスブックで紹介した夏休みの子ども向けイベントの様子です。フェイスブックでは、博物館からのお知らせの他に、開催したイベントのレポートや、展示の準備の様子など、普段お見せできない博物館の裏側もご紹介します!

会期 平成27年2月10日(火)～4月6日(月)  
博物館の浮世絵展  
**歌川派と歌舞伎**  
—勇壮なる役者絵の世界—

### 利用案内

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、年末年始(12月28日～1月5日)

入館料 一般 200円(高校生以上)

団体(20名以上)は半額

70歳以上は無料

障がい者手帳保持者およびその介護者1名は無料

5月5日・5月18日・10月1日・11月3日は無料公開日

第2・第3土曜日は無料公開日

JR亀有駅北口

東武バス 八潮駅南口行・足立郷土博物館

六ツ木都住行・東淵江庭園

下車 徒歩1分 下車 徒歩4分

千代田線綾瀬駅西口

東武バス 六ツ木都住行・東淵江庭園

下車 徒歩4分

駐車場有

足立区立郷土博物館  
〒120-0001 東京都足立区大谷田5-20-1  
TEL (03)3620-9393 FAX (03)5697-6562  
<http://www.city.adachi.tokyo.jp/hakubutsukan/chiihikibunka/hakubutsukan/index.html>



博物館だより NO67  
平成26(2014)年10月発行

足立区 登録番号 26-296

再生紙を使用しています。

